



岡山大学自然生命科学研究支援センター  
動物資源部門鹿田施設  
Newsletter

2011  
Jul.6

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp  
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>



新X線照射装置の供用を開始いたしました。

平成7年度に導入し、近年、故障が頻発しておりました本施設のX線照査装置(MBR-1520R)が、この度、更新されました。新しいX線照査装置(MBR-1520R-3)では、高圧発生方式がインバータ方式となり、効率的にX線を発生します。また、MBR-1520Rにおいて起動のたびに必要であったX線管装置のエイジングが不要となり、省エネルギーにも貢献しています。なお、これまで旧装置 MBR-1520R は旧館 1 階 118 室で供用していましたが、フロア間での実験動物及び利用者の移動機会を減らすために新装置 MBR-1520R-3 は新館 4 階マウス・ラット飼育エリア内の飼育室・実験室に隣接した 413 室に設置しました。便利になった新X線照査装置を研究にご活用下さい。

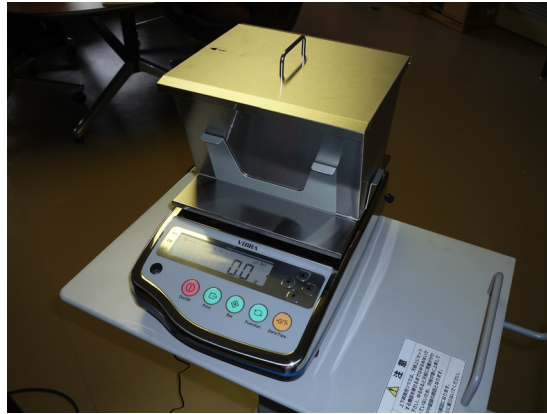


新X線照射装置 MBR-1520R-3 (413 室)



## 実験器具の整備も始めました。

これまで本施設の整備は、マウス・ラット飼育室の拡充や害虫対策の室整備、病原微生物感染防止対策の飼育室・実験室の集約化及び動線の変更のための室整備といった建物に付随したものが中心でした。本年度より X 線照査装置の更新、小型 X 線 CT 装置の



動物用電子天秤と実体顕微鏡

導入を手始めに動物実験で使用する機器・機具類の整備も始めることといたしました。まずは、動物の体重測定用の電子天秤及び実体顕微鏡を施設経費で購入し、供用を開始いたします。これらの利用には利用料金は発生いたしませんので、利用を希望される場合にはお気軽に各フロア担当者に申し出て下さい。

## 運営会議ダイジェスト

(平成 23 年 6 月 27 日に動物資源部門鹿田施設運営会議が開催され、以下の項目の協議が行われました。)

### 1. 平成 22 年度決算について

- (1) 電気使用量が過去最大となり、大きな負担 (24,024 千円) となっています。
- (2) ボイラ用大口ガス料金 (9,825 千円) が、新たな負担として生じました。
- (3) 平成 23 年度予算への繰越は僅か 243,727 円と大変厳しい状況です。

### 2. 平成 23 年度予算 (案) について

- (1) 配分経費では運営費交付金の基盤的運営費が昨年に引き続き 1 % 減 (22,722 千円) です。
- (2) 間接経費全学分 (光熱水料) の配分は 7,700 千円増、25,700 千円となりました。
- (3) 支出、特に、光熱水料 (39,744 千円 (見込)) を切り詰める等、経費節減努力が必要です。  
\* X 線照射装置の購入費、今後、購入予定の小動物用小型 X 線 CT 装置の購入費は、本施設の予算とは別枠となっております。

### 3. 平成 23 年度鹿田施設事業計画について

- (1) 感染実験用 IVIS の部門移管 (共同利用機器化) に伴う感染実験区域の改装を行います。
- (2) コモンマームセットの飼育室の増設、マウス飼育室の整備等を行います。

### 4. 利用料金一部改訂について

- (1) マウス胚凍結保存料の新規に制定しました。・・・500 円/月
- (2) コモンマームセットの利用料金を新規に制定しました。・・・300 円/日
- (3) 部屋貸し実験室の個別空調機電気料実費の徴収を行います。
- (4) X 線照射装置利用料の改定しました。・・・2,500 円/30 分  
\* X 線照射装置の購入費用の一部は受益者負担となっており、利用料金の一部を返還金として本部会計に返納することになっています。

◎施設としてはできるだけ利用料金の現状維持を行いますので、**飼育室、実験室の扉を閉めて作業をする等、省エネご協力下さい。**